

# 自治体 あいちの仲間

発行所 自治労連愛知県本部 名古屋市北区柳原三丁目7番8号  
URL http://www.jaichi.jp TEL 052 916-2251  
Eメール info@jaichi.jp FAX 052 916-2308

2010 2.10  
No.1000

発行責任者 伊藤 慎次 定価 10円  
組合員の購読料は組合費のなかに含まれています

核も基地もない東アジア-そして世界へ  
2010年  
3・1 ビキニデー全国集会  
とき ● 2月28日(日)～3月1日(月)  
ばしょ ● 2/28・静岡市「グランシップ」  
3/1・焼津市  
「焼津市文化センター」



自治労連愛知県本部の第104回臨時大会が1月23日、犬山フロイデで開催され、2010春闘で変化をチャンスに、雇用・くらし・地方自治を守れ、国民・労働者の声が生きる社会にしようと、活発な議論を展開。職場から全組合員が参加する運動で住民との共同を広げ、自治体での変化をつくる、同時に春の組織拡大月間で組織の増勢を勝ちとるなどの方針を確認しました。

## 変化をチャンスに! 第104回県本部臨時大会 10春闘



団結ガンバロー

### 職場で仕事を語り 地域で対話と提言すすめよう

**組合員参加と組織拡大へ全力**  
大会へは、30単組から109名の代表員が出席。梅野執行委員長が、「最賃の引き上げ、派遣法の抜本改正など、労働者の連帯とさすなで10春闘を勝利しよう」とあいさつ。このあと、新規加盟組合の「愛知自治体管理職ユニオン」へ組合旗が寄贈されました。

その後、伊藤書記長が第1号議案・2010年国民春闘方針案と第2号議案・09秋年闘争の中間総括案を提案。①「雇用を守れ、官製ワーキングプアなくせ」、「働くルール」の確立で、すべての労働者の賃金・労働条件の改善、貧困と格差の拡大の是正をめざす。②「自治体構造改革」攻撃を許さず、憲法と地方自治をいかに、職場で仕事を語り、

地域で「対話と提言」運動をすすめ、安心して働き、住み続けられる地域・自治体づくりをめざす。③すべての組合員の参加で職場と地域から共同を広げ、組織の純増をめざすとくみなど、5つのたたかひの柱を提起しました。



管理職ユニオンへ組合旗寄贈

人員要求や非正規の処遇改善へ全力  
討論では、「看護師自ら

器廃絶は大きな局面。NPTに愛知から多くの代表団を派遣しよう(名古屋市職労)、「個人委託検針員の単価引き下げに反対し、分会集や回交を行った。昇給もなく雇用も不安定。これからも運動をすすめる(豊橋市職労)」、「2月14日に東海北信ブロック女性部総会を開催する。多くの参加を(県本部女性部)」、「保育園には臨職が200名いる。正規と同じ仕事でも処遇はそれ以下。全県的に処遇改善が必要。県連協再建をめざして、ぜひ協力を(半田市職労)」、「公・民労働者が力を合わせて春闘をたたかていく。外郭団体の組織化にも尽力していきたい(名古屋)

が、交渉で職場の実態を発言し、年末年始手当の前進を勝ちとつた(蒲郡市職)。「現業の賃金水準見直し攻撃に対し、本庁舎前のピラ配布や10・15現業決起集会を成功させた(名古屋市職労)」、「時間短縮を実施。臨職の月額制の単価を826円に引き上げさせた(瀬戸市職労)」、「保育園に入れない待機児もいる。公立保

市職労)、「職場要求を各課の所属長へ提出し、全員参加の運動をすすめてきた。このとりくみを春闘につなげたい(犬山市職労)」、「城西病院の廃止反対などへ座り込みや抗議八ガキ行動を行ってきた。住民のいのちと健康を守るとりくみとしてがんばる(名古屋市職労)」、「全職場から人員要求をすすめ、所属長に要求書を提出し、人員増を勝ち取った。正規・非正規を超えた要求づくりをし組織化もすすめる(幸田町職労)」、「7級制を8級制にすると回答をひきだした。組織の新陳代謝が活発になり勢いがある。勤通大も5名受講。道州制についての情報提供を(岩倉市職)」、「オバマ大統領のプラハ演説にあるように、核兵

最後に伊藤書記長が執行部答弁。「道州制についてとりくみを強める。要求が前進しづらい情勢だが、何が自分たちの要求を阻んでいるのか、それを見極め突破していくことが重要。最低生計費調査のとりくみや春闘要求の練り上げ・確立・交渉を職場から強めることが大切。また、日常の仕事を通じて、専門性や知識を生かし、住民とともに行政運営をとりくもう。春の組織拡大の面でも全力をあげ、変化をチャンスにして春闘をたたかていこう」とまとめ、各議案とも満場の拍手で採択されました。



# 最近どいっす会

## 学事労・青年対策部

名古屋学校事務職員労組の青年対策部は、バラバラの職場だから、みんなで集まって色んな話を話したいと、オフサイドミーティング(ぎゅくばらんに仕事のはなしをする)「最近どいっす会」を企画しています。

1月28日、名古屋市教育館で4回目となる「会」が開催され、採用1〜10年目までを中心に、18人が参加しました。会場は軽快な音



いろんな話に花が咲きます

楽が流れ、学習会とはひと味違った雰囲気です。6〜7人のグループに分かれて、まずは自己紹介。「黒ひげ危機一髪」ゲームで負けたひとが、箱から引いた「行事」「同期」「異動」「出勤」「研修」「年末年始」など、テーマにそって話します。参加者から、「修学旅行先で生徒がインフルエンザを発症し、2日目で帰らざるを得なかった」「無念の行事報告や、寝ないで課題をやった研修の思い出、年末年始は家族で

トランプ大会をして盛り上げたことや、「学芸会で声だけ出演しました」など、ちょっとした出来事にも花が咲きます。参加者からは「またやってほしい」などの感想がよせられ、交流することの大切さを実感できる会となりました。

青年対策部は、月1回会議を行い、イベントや学習会を計画しています。「出会いや交流にマイナスなんてない。仲間」は、出会いや交流から生まれる育まれるもの」と考え、企画もひとひねり。多くのひとが参加してもらえよう、チラシを各学校へ配り、各区の代表が集まる時に知らせたり、個別に声をかけるなどもしています。

青年対策部の宮地亜満さんは「参加者も青年対策部も無理なくつづけられるか、みんながどうやって楽しんでもくれるか、考えるのに苦労しています。明日へ胸を張り、仲間との心解き放つ瞬間を過ごすため、未来を広げるために、今できることをすべてにチャレンジします。が青年対策部のモットーです。

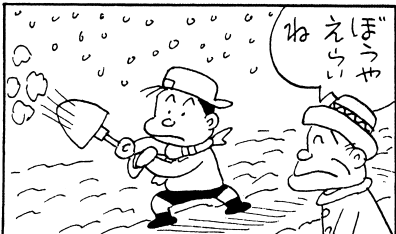
出会いや交流から「仲間」が生まれる



出会いや交流から「仲間」が生まれる

# ニクス笑ア.7

芝田 ☆ 友衛



安い掛金で大きな保障  
自治労連のセット共済  
お問い合わせは組合事務所まで



報告集会には命より大切な仕事ってなにの歌も

# 倉田公務災害認定裁判結審

### 判決は4月21日

刈谷市の美術館に勤務していた、倉田康弘さんの公務災害認定を求めてたか



歩きながらピラを読む姿も

われている裁判が3日、名古屋地裁で行われ、結審しました。

最終意見陳述をのべた原告の利奈さんは「労働者が健康ではたらく続けられる社会をつくるために、公正な判決をお願いします」と力強く訴えました。

なお、この日までに公務災害を求めて裁判所に提出された署名は、2万262

9筆に及びました。判決は4月21日午後4時からおこなわれます。

25日には、市長と2回目の意見交換会を実施。市長は、「職員の声を聞く」と言いながら、一方的に合併を進めていることに、「もっと、きちんと職員の声を聞くように」とつめ寄りしました。また、合併事務の進捗状況について把握し、合併の時期についても判断するべきと強く要請しました。

最後に今後市長と直接話し合いを設けることを確認しました。

# 押しつけ合併反対 市民宣伝 西尾市職

西尾市職は、1月24日、朝市でにぎわうスパー前で、「市長は市民の声をき

きなさい」として、合併問題を考える市民ピラの配布行動を行いました。この日は、合併に反対する市民団体も参加。1時間で約1500枚を配布。宣伝カーで

声の宣伝や、住宅への配布も行われました。

宣伝行動に初めて参加した組合員は、「ピラの受け取りも良く、住民の方がピラを読んでくれて嬉しかった。

た。参加してよかった」と話しています。市民からは「合併のすすめ方に問題がある」など、不満や不安の声も寄せられました。

25日には、市長と2回目の意見交換会を実施。市長は、「職員の声を聞く」と言いながら、一方的に合併を進めていることに、「もっと、きちんと職員の声を聞くように」とつめ寄りまし

**いのちの山河** 日本の青空Ⅱ  
シネマスコアにて公開決定! 2/20(土) ~ 3/19(金)

タイム 2/20~3/5 ①11:40 ②13:50  
スケジュール 3/6~3/12 ①10:00 ②12:10  
3/13~3/19 ①10:00

2/20~2/26は、16:00-「日本の青空」(前作・2007年製作)を併映。  
チケットを県本部で扱っています。(頒価1000円)  
お問い合わせ:自治労連愛知県本部

**単組定期大会 役員紹介**

蟹江町職労(2月5日)

執行委員長 伊藤 満  
副執行委員長 二村 和広  
書記長 宮波 峰子  
会計 奥村佐代子

# もひとつの基地建設 そしてたかかい

### 東村・高江

## 普天間基地なくせ、基地建設ノー!



ヘリパッド建設に反対する住民ら

ても生物多様性に富んだ重要な自然環境。その価値を多くの人が認め世界自然遺産や国立公園の候補にもあげられている。

「やんばる」の中に、「東村」があり、その北のはずれに「高江」という集落がある。人口約150人、中学生以下が人口の2割を占め、美しい山と川に囲まれ、子どもたちがのびのびと育っている。しかし、この緑豊かな高江と隣り合わせに総面積7800畝の米軍北部訓練場があるのだ。

1957年に使用が始まり、その3年後に開始された、ベトナム戦争でのゲリラ戦の訓練が行われた。1998年には、北部訓練場は米軍が持っている世界で唯一のジャングル戦のための戦闘訓練施設として、「ジャングル戦闘訓練センター」と名称を変えた。海兵隊のサバイバル訓練や、ヘリコプターでの移動宙吊り訓練、模擬弾を使用する射撃訓練など、戦場さながらの訓練が行われている。政府は、辺野古への基地建設と一体に、北部訓練場の約半分の基地返還にあわせ、高江へのヘリパッド移設に合意したのだ。たかかいはこでもはじまっている。

(次号へ)

名護市・辺野古からさらに北へ行くと、豊かな森に囲まれた地域、「やんばる(山原)」がある。

やんばるの森には、地球上でここだけにしかないヤンバルクイナやノグチゲラなどの固有種や絶滅危惧種が数多く生息している。日本の全面積の0.1%にも満たないエリアに、全国の高等植物の27%が自生し、また単位面積あたり本土の51倍の動物がくらしている。

「東洋のガラパゴス」と呼ばれるゆえんである「やんばる」は、たんに国内において貴重だということだけでなく、世界的にも